



# 河北医科大学

## Hebei Medical University



- 学部学生 9,781人（本科生のみ） ●大学院生 3,431人 ●教職員 11,186人 ●留学生 約300人  
 ホームページ <http://www.hebmu.edu.cn/>  
 交流協定締結年月日：2001年11月27日 主管学部：医学部



2019年3月 河北医科大学への訪問

## 国際交流の特色

河北医科大学は1894年に端を発し、他大学との統合により1995年5月に現在の大学となっている。河北省石家庄市に位置し、昔から東西の交通の要衝としても知られている。大学の構成は、学部14、大学院博士課程42、修士課程68のコースである。学生数は本科生10,491人、留学生400人（日本、韓国等）である。教職員は12,443人を超え、学生の指導にあっている。さらに、河北医科大学は5箇所の附属病院を有し、非常に高水準な教育・研究・診療がなされている。また、日本をはじめ韓国、アメリカ、フランス、イギリス、パキスタン等の海外の大学と共同研究を活発に行っている。

## 交流実績（平成28年度～30年度）

年度	H28	H29	H30
受入・派遣			
学生の受入	13	14	15
学生の派遣	8	5	7
研究者・職員の受入	1	4	2
研究者・職員の派遣	11	3	9



## 教員からの声

河北医科大学は大きな規模の大学で、基礎医学院、口腔医学院、成人教育学院、薬学院、公共衛生学院、衛生技術学院、臨床医学院からなっている総合的な医学教育機関です。さらに、大学には第1から第6までの附属病院があり、非常に充実した臨床教育が行われています。特にこの中でも第4附属病院における食道がんの症例数は世界に類がないほど多く、諸外国の大学と共同研究が進められています。2001年11月27日に締結した交流協定は、香川医科大学が医学部になったことより学部間協定になっていましたが、2018年度5月に香川大学との大学間協定として新たに締結されました。本学の大学院を修了した留学生は帰国後、母校や附属病院で活躍しています。今後双方の学生交流がさらに推進されることを期待しています。

医学部教授 三宅 実

## 学生からの声

Guo Yimanと申します。河北医科大学口腔病学科を卒業後、2017年9月に本学大学院に入学しました。現在は生化学教室で基礎実験を行っています。主な研究内容はエイコサノイド（プロスタグランジン・トロンボキサン・ロイコトリエン）や血小板活性化因子をはじめとするリン脂質由来の生理活性脂質、ステロイドホルモン、および脂溶性ビタミンは、広い意味での脂質メディエーターです。私は、種々の脂質メディエーターの代謝酵素の機能解析を行い代謝調節機構を明らかにすることで、脂質メディエーターの生理的および病態生理学的意義の解明に寄与することを研究目的としています。私は日本に2年間住んでいて、多くを学びました。香川の気候と食べ物も大変気に入っています。もっと多くの留学生が私たちの家族に加わってくれることを願っています。

歯科口腔外科学大学院生 郭 一満